



令和7年3月3日発行

学校だより

第17号

江戸川区立松江第三中学校

〈 教育 目 標 〉

- 1 素直で明るい、心豊かな生徒を育てる
- 2 自ら進んで、よく学びよく働く生徒を育てる
- 3 責任を重んじ、正義と規律を尊ぶ生徒を育てる

～ 3月はどんな日がある？ ～

校長 小澤 託

いよいよ3月に入りました。

“今日3月3日が、何の日かご存知ですよ？” ^{おおかた} 大方の人はひなまつりと答えるでしょう。なかには、“耳の日”と答える人もいるかもしれません。

“3”が、耳の形に似ているから、「み(3)み(3)」の語呂合わせだ、という話もあります。

本当のところは分かりませんが、ほぼ毎日何らかの日になっているのは間違いありません。祝日や記念日などは、メディアでも取り上げますし、誰もが知っている日です。でも、3月は、祝日でも記念日でもなく、忘れてはいけない日があるなあ、と私は思っています。

特に取り上げたい2日を紹介します。連続していますが、ぜひ憶えておいてほしいです。

1つめは、3月10日：東京都平和の日

1945年の3月10日、東京大空襲によって、多くの人が亡くなりました。戦争の^{さんか}惨禍を再び繰り返さないことを誓い、平和の意義を確認する日となっています。

約300機の B29 型の爆撃機が東京の空に飛来し、無差別に多くの爆弾を落とし東京を焼け野原にし、10万人以上の尊い命が亡くなった日と言われております。当時、茨城に疎開していた方は、夜にも関わらず南の空（東京方面）が赤く染まっていたと証言しておりました。皆さんが住んでいるここ江戸川も、特に小松川・平井地区一帯は壊滅的な被害を受けたと報告されています。8月の終戦や原爆の日だけではなく、平和について考え、どうすれば地球上から争いがなくなるかを考える必要があるのではないのでしょうか。

2つめは、3月11日：東日本大震災の日（防災意識を育てる日）

2011年の3月11日に発生した東日本大震災を忘れないための日であり、震災の教訓を活かし、防災の意識を高める日となっています。

忘れもしない14時46分。三陸沖を震源とした最大震度7の地震が発生。東京も震度5強を観測し、停電し全ての交通機関がストップしました。都心で働く人々が車で渋滞する道を夜通し歩いて帰る姿や卒業遠足で遠方に行っていた中学生はバスや避難場所のビルの一室で夜を過ごしたりしました。津波や建物の倒壊により、大切な人を失った方々の悲しみの声“目の前で、人が流されて、戻ってこない悲しみ。手をつないで一緒に逃げていたのに、離れていったあの感触。わかりますか”は、今でも忘れられません…。

何気なく生活できていることに感謝しなければいけない。

安心して眠ることができ、おいしくご飯を食べられることに幸せを感じなければいけない。

時には、今日がどんな日であったか、を調べて、過去のその日から学ぶことも大切だなと感じます…。

【ある中学生の作文…】

「後悔は一生」

みなさんは「あの時、こうすれば良かった」「あの時、ああしていれば」と思ったことはありますか？ 私はあります。中学3年生の体育祭の係決めの時、私は副団長に立候補するか、迷っていました。私は、同じ軍の生徒たちをまとめたり、引っ張っていったりする自信がありました。しかし、ダンスが上手にできない、という理由で立候補するのをやめました。

家に帰った時、私は「やっぱり立候補していれば良かった」と涙を流しながら、とても後悔しました。そのあと、私は「後悔をしても過去が変わることはないから、副団長になっていないけれど、やれることをやろう」と考え、中学校生活最後の体育祭を終えました。しかし、いまだに心残りがあります。

その時の一瞬で、その先ずっと後悔し続けることを実感しました。これから先、自分の思いを正直に伝えられるようになりたいと思います。

まるで、道德の授業の読み物資料のような作文です。

ストレートに悔しさが伝わってくるこの中学生の思い、同時に、自分もこういう経験したことがあるような…という思い。皆さんにはありませんか？

こういう経験したことがあるような…と思うのは、全然恥ずかしいことではありません。逆に、このような経験を自らを変えるチャンスと思い、チャレンジするか、しないか、だと思えます。

チャンスは誰にでも訪れる。しかし、そのチャンスをつかめるのは一握り！

チャンスをつかむのは、あなたです！！

<小中連携の体験授業>

2月26日(水)の午後(本校の生徒は、学年末考査のため午前中で下校)、学区内の小学校の第三松江小学校と大杉小学校の6年生を招いて、中学校の授業を体験していただきました。小学校の皆さんにとって、いつもと違う教室で行われた特別な授業はどうだったのでしょうか。おそらく、緊張感もあったでしょうし、わくわくする気持ちもあったと思います。懸命に授業に取り組む様子を見て、うれしく思いました。

ところで、授業を体験してもらう前に、体育館であいさつをさせてもらったのですが、小学校6年生の皆さんの話を聞く姿勢や話す人の顔を見て話を聞く姿をみてびっくり！！

“立派です！”の一言

非常に素晴らしいと感じました。集団が1か所に集まった時にこそ、その集団が鍛えられているか、普段の生活をどう過ごしているか想像がつくものです。4月から、本校ではない中学校に進学する児童もいるとは思いますが、入学してくる児童の皆さんとお会いできるのを在校生・教職員一同楽しみにしたいと思います。

三年生のみんなへメッセージ

「失敗をすることを恐れるより、何もしないことを恐れる」この言葉は、日本を代表する自動車メーカー「HONDA」の創業者、本田宗一郎氏の名言です。誰でも新しいことに一歩踏み出すことは勇気がいるものです。しかし、恐れてばかりでは何も得るものではありません。

“No Attack, No Chance”自分の夢に向かってチャレンジし続けてください。(副校長・大谷)